



17 ネイチャーゲーム

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

五感をつかい、様々なゲームを行いながら自然を感じます。

1 ねらい

様々な感覚を使って自然を直接体感し、自然への共感を育む活動をすることで、自然や他者への感受性を高め、思いやりや生命を大切にする心を育てます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 自然の家周辺 60人以内（1グループ12～16人程度）
プレーホール及び大ホール 60人以内（内容は限定されます）
- ② 期間 通年（春、秋が最適）
- ③ 時間 2～3時間（1つの活動が15分～30分）

3 職員の支援について

やり方説明など、職員が活動支援に入ることができます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人	・野外活動に適した服装（長袖、長ズボン、帽子） ・活動によって、鉛筆、敷物（1人用）	
自然の家	・ネイチャーゲーム用具類	・活動によって変わります。

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の総括、指揮、連絡にあたる。
支援者	・1グループに1名必要。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 活動説明（代表責任者）
- ② それぞれの活動場所へ移動
- ③ 15～30分×4活動程度 ※必要に応じて活動ごとのふりかえり
- ④ 全体でのふりかえり

7 その他

- ・ 支援者は、活動にふさわしい場所を選定するとともに、活動エリア内の自然環境が十分保全されるように努めてください。
- ・ 活動中は、安全確保と事故防止に努めてください。

《資料》 ネイチャーゲームの活動例

① 動物交差点

自分の背中につけられた生き物カードを、周囲の人たちに質問しながら推理していきます。

- ・ 生き物の生態についての興味をかきたてる。
- ・ 分類について学ぶ。
- ・ うちとけた雰囲気をつくる。
- ・ 相互に助け合う。

② フィールドビンゴ

「木の実」や「ぬけがら」など自然の宝物を探すビンゴゲームです。

- ・ さまざまな感覚をとぎすます。
- ・ 観察力を高める。

③ カモフラージュ

道のわきに目立たないように置かれた人工物を注意深く探します。

- ・ 観察力を養う。
- ・ 擬態や保護色、適応について学ぶ。
- ・ 身近な生き物の暮らしの知恵や不思議を知り、興味を持つ。

④ 動物ヒントリレー

生き物のヒントを書いたカードをもとに、グループでその生き物を推理します。

- ・ 生き物の特徴や生態を学ぶ。
- ・ チームワークを育てる。

⑤ ごちそうはどこだ

リスやカケスが冬の間の食料として地面などに貯蔵しておく木の実の行方をさがします。

- ・ 動物と木の実の関係について学ぶ。
- ・ 貯食によって森の木々の種が芽を出すことができるという仕組みを学ぶ。

⑥ 夜の音さがし

夜の自然の中で、隠れた人が出す音を聞き分けて見つけ出します。

- ・ 人工の音を注意深く聞き分ける体験を通して、自然に対する感性を高める。
- ・ 仲間と協力する気持ちを養う。

※活動によっては館内で活動することも出来ます。詳しくは職員にご相談ください。